

I 概 況

大阪府は近畿地方のほぼ中央に位置し、その面積は 1,905.34km²（令和5年10月1日現在）で国土の約0.5%と全国で2番目に小さい都道府県である。

一方、人口は876万1190人（令和6年4月1日現在推計人口）で全国の約7.1%を占め、東京都に次ぐ高密度な人口集積地域を形成している。全国的な傾向と同様に、本府においても人口減少が進行しつつある。

人口のほとんどが大阪平野に集中し、府域平坦部のすべては43の上水道事業により給水されており、その給水区域はほぼ連担している。

また、山間部の集落に給水している簡易水道事業については、上水道事業への統合が進められ、平成29年度末までにすべての簡易水道事業が上水道事業へ統合された。

水源については、上流に琵琶湖をもつ淀川を除く府内の河川は、ほとんどが中小規模であり、流域面積が小さく、流況も不安定であるため、大半は淀川に依存している。この淀川を水源として、大阪広域水道企業団が府内32市9町1村を給水対象に水道用水を供給しているほか、大阪市をはじめ、4市が自己水源として活用している。

1 水道の普及状況

令和5年度末における大阪府の水道の普及状況は、総人口876万1190人、給水人口876万764人で、普及率は99.99%に達している（表一2）。給水人口を水道の種類別にみると、上水道が875万9318人で総人口の99.98%を占め、専用水道（自己水源のみで給水をおこなっているもの）が1,446人で0.02%を占める。未給水人口は426人である。

なお、令和5年度末における水道の種類別箇所数は表一1のとおりである。

区 分	箇 所 数
上 水 道	43
用水供給	1
専用水道	345 (42)
簡易専用水道	17,813
特 設 水 道	16

表一1 水道の種類別箇所数（令和5年度末）

- ・専用水道の箇所数は、国設置の専用水道を除く。
- ・専用水道の（ ）は、自己水源のみの施設数で内数である。
- ・特設水道は「大阪府特設水道条例」に規定されるもの。
- ・簡易水道は平成29年度末までに上水道に統合済みである。

表一2 水道普及状況の推移

	昭和 35年	40年	45年	50年	55年	平成 2年	12年	22年	令和 30年	元 年	2年	3年	4年	5年
給 水 人 口 (千人)	5,049	6,391	7,432	8,228	8,302	8,691	8,785	8,853	8,812	8,818	8,802	8,778	8,770	8,761
総 人 口 (千人)	5,505	6,657	7,554	8,291	8,378	8,707	8,793	8,856	8,814	8,819	8,803	8,778	8,771	8,761
普 及 率 (%)	91.7	96	98.4	99.2	99.1	99.8	99.9	99.97	99.99	99.99	99.99	99.99	99.99	99.99
全国普及率 (%)	53.4	69.4	80.8	87.6	91.5	94.7	96.6	97.5	98.0	98.1	98.1	98.2	98.3	集計中